

本書で次の地震に備える対策と 迎え撃つ手立てを見つけよう!!



■ B5判 210頁 (オールカラー刷)
定価 (本体 2,600円+税) 送料 108円

4月中旬発売予定



最初の一瞬で生死が決まる地震災害。
無事に乗り切ることができますか？
地震で死なない、けがをしない
住環境。

本書は、豊富なデータと写真を使い、
それを明らかにしました。
あなたの家には生存空間がありますか？

著者紹介

中川 洋一 (日本災害情報学会会員
地域安全学会会員)

立教大学経済学部卒と同時にNHKに入局。
名古屋放送局チーフ・アナウンサーなどを経て報道番組部チーフ・ディレクターに転じ、報道番組の制作に従事。定年後は浜松学院大学と常葉学園短期大学で教壇に立つ。この間、静岡県地震防災センター評議員、(財)静岡総合研究機構防災情報研究所外部研究員、静岡県立大学防災総合講座講師などを努めた。

本書の主な目次

第1章 過去の地震被害を再検証する

- 第1 2016年熊本地震 2回の震度7で激甚な被害
 - ・2回にわたる震度7 そのとき人は…/住宅の壊れ方に様々なタイプ/人はどのような状況で死傷したか ほか
- 第2 2011年東日本大震災 [1] 津波はこのように人を襲った
 - ・街の中心が忽然と姿を消した/体験者たちの証言/GPS波浪計がとらえた津波の姿
- 第3 2011年東日本大震災 [2] 全貌不明の建物被害
- 第4 2011年東日本大震災 [3] もう一つの大災害地盤の液状化
- 第5 2009年駿河湾の地震 室内災害の典型例
 - ・死傷原因をタイプ別に分類する/全体の傾向を再検証すると…
- 第6 2008年岩手県沿岸北部の地震 自損事故が多発
- 第7 2008年岩手宮城内陸地震 被害タイプは土砂災害
- 第8 2007年能登半島地震 なぜかヤケド事故が多発
- 第9 2007年新潟県中越沖地震 古い木造住宅に建築災害
- 第10 2005年福岡県西方沖地震 島嶼部に被害集中 都市型災害も
- 第11 2004年新潟県中越地震 [1] 震度7の本震と長期にわたった余震
 - ・死亡時の状況/災害関連死の発生率が最多/室内被害と建築被害
- 第12 2004年新潟県中越地震 [2] 患者を守れ!小千谷総合病院の激闘
 - ・建築群各部の被害と建築年代/連続発生した大地震・激動の院内/小千谷総合病院を支えた附属施設
- 第13 2004年新潟県中越地震 [3] 被災者日記
- 第14 2003年宮城県北部の地震 死者ゼロだが室内で多数の負傷者

- 第15 2003年十勝沖地震 津波で釣り人が行方不明
- 第16 2001年芸予地震 「坂の町」で石垣の崩落が多発
- 第17 2000年鳥取県西部地震 自損型の負傷が多発
- 第18 1995年阪神・淡路大震災 住宅全壊10万棟の衝撃

第2章 災害タイプ別各論

- 第1 土砂災害 どう備え どう回避するか
- 第2 地盤の液状化等 内陸部の平坦地でも広く発生
- 第3 建築災害 既存不適格住宅に大被害
- 第4 その他の災害 発生時刻が関与するものあり

第3章 家財道具災害を科学する

- 第1 転倒・落下の科学 本棚が倒れやすいワケ
- 第2 家具固定の基本原則 全方向に強い留め方をする
- 第3 固定作業の実際 厳重に、そして美しく留める
- 第4 家具業界からの提案 新築時が最良のチャンス

第4章 防災の本質は「災害の未然防止」

- 第1 空間の耐震化が真の目標 人は空間の中で生きている
- 第2 安全空間・生存空間を作る 救急・医療への過剰な負担は減らせる
- 第3 この国土で生きる 対策を行うのは「私」

(追補) 2016年熊本地震

- ・あとがき/索引